

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104010	小中学校学区再編成等調査事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,157	31		-1,126
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,157	31		-1,126

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
教育環境を充実する。

事業開始の背景・経緯
少子化の影響を受け、児童生徒数の減少が進み、学校の小規模化、複式学級の出現など地域の状況により、学校規模、学習環境がアンバランスな状態であることから、学校規模の適正化を図り、活力ある教育環境を整える。

事業概要
現状認識のための情報共有 31千円 「花巻市内小中学校児童生徒数の推移と今後の見通し」を市議会議員、区長、コミュニティ会議、校長、PTAに配布し、現状認識を図るとともに、各校のPTAや地域住民を対象に「教育懇談会」を開催し、望ましい教育環境の構築について意見交換を行う。

担当部署	51100000 教育委員会 教育企画	担当課長	小原 賢史
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度第2回教育振興審議会・平成30年度第1回保育教育環境検討会議</li> <li>・令和元年度第1回花巻市議会定例会一般質問・令和元年度第2回花巻市議会定例会一般質問</li> <li>・令和元年度笹間地区統一要望・亀ヶ森地区の子供たちの教育環境について考える会・教育懇談会</li> </ul>

事業手法の詳細 1
<p>1 現状認識のための情報共有 31千円</p> <p>(1) 通信運搬費 31千円 「花巻市内小中学校児童生徒数の推移と今後の見通し」の配布 (配布先:市議会議員、区長、コミュニティ会議、校長、PTA)</p> <p>【これまでの経過等】</p> <p>H27~ ・保育教育環境検討会議開催</p> <p>H28~29 ・保育教育環境検討会議開催 ・ワークショップ開催 保幼小中の望ましい規模や再配置を含めた将来像の形成</p> <p>H30 ・「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針(案)」策定 ・説明会開催 ・出前学習会開催 ・保育教育環境検討会議開催</p> <p>R1 ・「花巻市立小中学校における適正規模・適正配置に関する基本方針策定」 ・教育懇談会開催等 大迫地域として内川目小学校・亀ヶ森小学校の大迫小学校へのR3.4.1統合方針決定</p> <p>R2 ・保育教育環境検討会議開催 ・大迫地域小学校統合準備委員会設立、閉校記念事業への支援等 R3.4.1内川目小学校・亀ヶ森小学校の大迫小学校への統合</p> <p>R3 ・教育懇談会開催 笹間地区として笹間第一小学校と笹間第二小学校のR5.4.1統合方針決定 ・笹間第一小学校・笹間第二小学校統合準備委員会設立</p>

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104020	私立高校振興事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,240	3,240		0
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,240	3,240		0

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

教育環境の充実

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

私立高校は公教育の一環を担うという大きな役割を果たしてきており、市として私学の自主性を尊重しながら、私立学校の教育条件の維持、向上をはかるため私立高校への助成を行ってきた。

事業概要

私立高校振興事業補助 3,240千円  
 私立高校の振興に対する補助金交付  
 @4,500円×生徒定数720人=3,240,000円

担当部署	51100000 教育委員会 教育企画	担当課長	小原 賢史
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

・平成28年第3回花巻市議会定例会において「私学教育の充実・発展を求めること」の請願あり 一部採択

事業手法の詳細1

1 私立高校振興事業補助金 3,240千円

【事業概要】

学校教育における私立高校の果たす重要な役割に鑑み、教育環境整備の充実を図ることにより、本市教育の振興に資するため補助金を交付する。

- ・補助対象：花巻東高等学校
- ・補助内容：運営費補助
- ・補助額：3,240千円（4,500円×生徒定数720人）

【補助金交付の必要性とその効果】

私立高校の役割：公教育の一端を担い、多様なニーズに応じた教育研究を推進

補助金交付により私立高校の教育環境の充実が図られ、優れた人材の輩出につながることから、市教育振興に資する。

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104040	奨学金活用人材確保支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		300	379		79
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	300	379		79

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯
花巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略を進めるうえで、奨学金制度を有効に活用した事業実施の検討が必要になったため。

事業概要
ふるさと保育士確保事業補助 148千円(継続2人、新規2名) 市内認可保育園で勤務している保育士に奨学金の返還金の半額を補助
ふるさと奨学生定着事業補助 231千円(継続3人、新規2人) 市内大学を卒業後に市内に居住している者に奨学金の返還金の半額を補助

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

奨学金活用人材確保事業 R3 379千円 (R2 300千円 前年度対比 +79千円)

- ふるさと保育士確保事業補助 148千円 (R2 153千円 前年度対比 5千円)  
 事務費 0千円 (R2 16千円 前年度対比 16千円)  
 市内認可保育園で勤務している保育士に奨学金の返還金の半額を補助  
 対象者4名 (内訳 継続2名、新規2名)  
 ・補助金 148千円
- ふるさと奨学生定着事業補助 231千円 (R2 122千円 前年度対比 +109千円)  
 事務費 0千円 (R2 9千円 前年度対比 9千円)  
 市内大学を卒業後に市内に居住している者に奨学金の半額を補助  
 対象者5名 (内訳 継続3名、新規2名)  
 ・補助金 231千円

補助金の流れ

市 補助1/2 奨学基金  
 対象者 返還1/2

事務費 0千円 (R2 25千円 前年度対比 25千円) 管理運営費ヘシフト

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104800	はなまき夢応援奨学金事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		49	3,680		3,631
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	49	3,680		3,631

特定財源の内訳

特定財源の内訳					
---------	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

「返還義務のない奨学金について」の市長へのはがきを契機に、貧困の連鎖を解消する一助になればと考え自立に向けた支援が必要な方への奨学金制度の構築を行うこととなった。

事業概要

はなまき夢応援奨学金 3,680千円  
生活保護世帯、児童養護施設入所者、ひとり親家庭で非課税世帯、特別支援学校高等部在籍者、日本学生支援機構給付奨学金採択者のいずれかに該当し、高等学校などを卒業後、大学・短期大学・専修学校専門課程等に進学し、卒業後に市内に居住する意思を持つ者に対し、月額20,000円以内の学資金を貸与する。  
また、卒業後市内に居住する場合は返還を免除する。ただし、転出している期間については、返還を要する。(貸与者 16名)

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

H28.10.20市長へのはがき「返還義務のない奨学金について」

事業手法の詳細 1

はなまき夢応援奨学金事業 R3 3,680千円 (R2 49千円 前年度対比 +3,631千円)

- 奨学金繰出金 3,680千円 (R2 0千円 前年度対比 +3,680千円)  
貸与原資 3,680千円  
基金利子 0千円  
事務費 0千円 (R2 49千円 前年度対比 49千円)  
貸与数 継続0名、新規16名
- はなまき夢応援基金奨学金の概要  
制度見直しについて  
はなまき夢応援奨学金は、平成29年度の創設以来4年が経過するが、その間の同奨学金利用者は4名にとどまっており、令和2年度については利用者なしとなっていた。  
国では、令和2年度から独立行政法人日本学生支援機構の給付奨学金の対象世帯を拡充し、非課税世帯に準ずる家庭も利用可能としたものの、当該給付奨学金に採用された世帯において貸与奨学金を併用している世帯が一定数あり、支援が十分でない状況となっているため、はなまき夢応援奨学金に係る貸与条件を緩和し、より多くの学生の就学を広く支援することができるよう見直しを行った。

- 【拡充した点】
- 日本学生支援機構の給付奨学金に採択された方を新たに対象者に追加
  - 日本学生支援機構の給付奨学金との併用を可能とした

概要  
生活保護世帯、児童養護施設入所者、ひとり親家庭で非課税世帯、特別支援学校高等部在籍者、日本学生支援機構給付奨学金採択者のいずれかに該当し、高等学校などを卒業後、大学・短期大学・専修学校専門課程等に進学し、卒業後に市内に居住する意思を持つ者に対し、月額20,000円以内の学資金を貸与する。  
また、卒業後市内に居住する場合は返還を免除する。  
ただし、転出している期間については、返還を要する。

流れ  
【奨学金を借りて進学を希望し、卒業後に市内への居住を希望する要自立支援者】  
生活保護世帯の学生  
児童養護施設入所者であった学生  
ひとり親家庭で非課税世帯の学生  
特別支援学校高等部卒業の学生  
日本学生支援機構の給付奨学金に採択された学生(追加)  
奨学金を貸与 奨学金から貸与し、同額を一般会計から繰り入れる  
大学等卒業後に市内に居住すると全額免除  
転出した場合は返還

事務費 0千円 (R2 49千円 前年度対比 49千円) 管理運営費ヘシフト

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	02	104890	岩手県立大迫高等学校生徒確保対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		6,262	11,369		5,107
財源内訳	国費	0	2,753		2,753
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	6,262	8,616		2,354

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~		
------	-------	------	---	--	--

部重点施策における目標	地域が主体となった個性あふれる地域づくりを支援します。
-------------	-----------------------------

事業開始の背景・経緯	岩手県立大迫高等学校は、大迫地域唯一の後期中等教育機関であり「地域とともに歩む大迫高校」が、地域の活性化に果たす役割が大きい。新入学者21人以上という存続要件を満たすための入学者増に資する事業を展開する。
------------	--

事業概要	高校生おおはさま留学生の受け入れ 4,626千円 高校生おおはさま留学生の受け入れ 2人(継続:2人) 地域みらい留学事業負担金 880千円 地域みらい留学フェスタ2021へ参加し、募集を実施 岩手県立大迫高等学校生徒確保対策協議会事業補助 拡充 5,863千円 生徒確保通学費補助、学習支援費補助、生徒募集ポスターの作成、高校の魅力化促進事業補助 制服購入費補助、各種検定費補助
------	--

担当部署	22290000 大迫支所 大支(教育)	担当課長	高橋 哲也
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況	地域住民や各団体から大迫高等学校の存続を求める声がある。また、支所市長執務においても岩手県立大迫高等学校生徒確保対策協議会から、大迫高等学校生徒確保に対する支援の要望などが出ている。
-----------	---

事業手法の詳細1	岩手県立大迫高等学校生徒確保対策事業 11,369千円 1. 高校生おおはさま留学生の受け入れ 4,626千円 高校生おおはさま留学生の受け入れ 2人(継続:2人・新規:0人) (1) 受入経費 4,483千円 報償費(生活支援員謝礼) 3,500円×延べ41日(3人) = 143,500円 委託料(2人分) 4,339,500円 ア. 人件費(寮長・調理員) 8,000円×30日×12月 = 2,880,000円 イ. 寮費 44,400円×12月×2人 = 1,065,600円 ア+イあらため 計3,945,000円×1.1 = 4,339,500円 《参考》 高校生おおはさま留学生に係る保護者負担 480千円(±0千円) ・寮費(食費1人当たり) 40,000円×12月 = 480,000円 (2) 募集経費 143千円 地域みらい留学合同説明会 0千円 印刷製本費 募集チラシ 1,000枚×130円×1.1 = 143,000円 2. 地域みらい留学事業負担金 880千円 3. 岩手県立大迫高等学校生徒確保対策協議会事業補助 5,863千円 (1) 生徒確保通学費補助 5,280,390円 タクシー 11,500円(23,000円×1/2)×延べ441月(40人) = 5,071,500円 JR定期代 (花巻駅~石鳥谷駅) 28,300円×1人 = 28,300円 (花巻空港駅~石鳥谷駅) 18,090円×1人 = 18,090円 バス定期代 (石鳥谷駅~大迫) 32,500円×5人 = 162,500円 (2) 学習支援費補助(スタディサプリ学習費) 72人 396,780円 (3) 生徒募集ポスターの作成 100枚×1,000円×1.1 = 110,000円 (4) 高校の魅力化促進事業補助(人材育成学習会等) 0円 (5) 制服購入費補助 40,000円×1人 = 40,000円 (6) 各種検定費補助 32人 35,950円
----------	---

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104070	学校安全確保事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		457	467		10
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	304	310		6
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	153	157		4

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

教育環境の充実

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

登下校時における児童生徒が被害者となる事件・事故を未然に防止するためには、家庭や地域の関係機関との連携が不可欠であることから、この事業を開始した。

事業概要

学校安全体制整備 467千円  
 スクールガード・リーダーによる学校巡回指導、スクールガード養成講習会の実施

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細 1

学校安全確保事業 467千円

- 1 スクールガード・リーダーによる巡回指導 441千円  
 スクールガード・リーダー(3名)による各地区スクールガードの巡回指導  
 巡回謝礼 420,000円 保険料 21,540円
- 2 スクールガード養成講習会の実施 26千円  
 講師謝礼 11,700円 消耗品費 13,970円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104160	教科用図書採択事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		30,893	20,475		-10,418
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	30,893	20,475		-10,418

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

教育環境の充実

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

教科用図書の採択を円滑に進める必要があるため、中部地区教科用図書採択協議会へ負担金を支出する。

--	--	--	--	--	--

事業概要

教師用教科書及び指導書の購入 20,475千円  
市内小中学校で使用する教師用教科書及び指導書の購入

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

教科用図書採択事業 20,475千円

- 1 教師用教科書及び指導書の購入 20,475千円  
消耗品費 20,475,235円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104900	部活動適正化促進事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		3,007	3,184		177
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	1,890	2,013		123
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	1,117	1,171		54

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~		
------	-------	------	---	--	--

部重点施策における目標

教育環境の充実

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

H30年に国及び県から示された部活動に関するガイドラインに則り、成長期の生徒の部活動と休養のバランスを取ることや教員の負担を軽減して本来業務の生徒と向き合う指導に専念できる職場環境を整えることが課題となっているためこの事業を開始した。

事業概要

部活動指導員の配置 3,184千円  
市内中学校10校に部活動指導員を配置

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細 1

部活動適正化促進事業 3,184千円

- 部活動指導員の配置 3,184千円  
市内中学校10校に部活動指導員27名を配置  
報酬 3,020,400円 費用弁償 164,019円



令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	01	03	104930	学校地域協働連携事業

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		4,607	5,008		401
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	1,318	1,588		270
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,289	3,420		131

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

「学校」「地域」「連携」がキーワードの3つの事業（「学校地域連携事業」「学校図書館支援事業」「小中連携強化事業」）を統合することにより、地域全体で子どもの成長を支える環境づくりを推進する。  
また、平成29年3月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により努力義務とされた「学校運営協議会」を設置する学校（コミュニティ・スクール）の推進を図る必要がある。

事業概要

学校地域連携 2,315千円  
地域コーディネーターを配置し、地域と学校の連携・協働による学習支援活動を実施  
コミュニティ・スクールの調査・導入 80千円  
学校運営協議会制度の継続調査及び学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールの導入  
学校図書館支援員の配置 2,613千円  
各小中学校を巡回して図書整備及び利用等の運営に関する助言指導を行う学校図書館支援員を配置

担当部署	51190000 教育委員会 学校教育	担当課長	及川 仁
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

学校地域協働連携事業 5,008千円

- 学校地域連携 2,315千円  
地域コーディネーターを配置し、地域と学校の連携・協働による学習支援活動を実施  
地域コーディネーター謝礼 1,800,000円 消耗品費 515,132円
- コミュニティ・スクールの調査・導入 80千円  
学校運営協議会制度の継続調査及び学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールの導入  
講師謝礼 8,000円 学校運営協議会委員謝礼 39,000円 職員旅費 13,460円  
費用弁償 13,880円 消耗品費 5,500円  
  
コミュニティスクール「学校運営協議会制度」とは  
学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための仕組み  
（主な役割）  
・校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。  
・学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べるができる。  
・教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べる  
ことができる。
- 学校図書館支援員の配置 2,613千円  
各小中学校を巡回して図書整備及び利用等の運営に関する助言指導を行う学校図書館支援員1名を配置  
報酬等 2,407,793円 燃料費 36,282円 自動車借上料 168,480円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	01	104190	小学校施設維持事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		59,803	40,848		-18,955
財源内訳	国費	4,435	8,547		4,112
	県費	0	0		0
	地方債	18,300	21,500		3,200
	その他	0	8,500		8,500
	一般財源	37,068	2,301		-34,767

特定財源の内訳					

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯

良好な学習環境と安全・安心な学校運営を図るため、施設の維持管理・長寿命化を図る。

事業概要

設備等の維持管理、長寿命化 9,459千円  
 設備の維持、更新及び改修  
 矢沢小放送設備更新、湯本小放送設備更新、エアコン移設  
 校舎等の維持管理、長寿命化 31,389千円〔うち繰越明許費 25,735千円〕  
 南城小FF式暖房更新（設計）、宮野目小FF式暖房更新（設計）  
 湯本小（校舎）非構造部材耐震化工事（繰越明許費）

担当部署	51100000 教育委員会 教育企画	担当課長	小原賢史
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況

各学校からの施設要望

事業手法の詳細1

小学校施設維持事業 40,848千円〔うち繰越明許費 25,735千円〕

学校施設長寿命化計画（令和2年10月策定）に基づき施設の維持管理、長寿命化を図る

- 設備等の維持管理、長寿命化 9,459千円  
 設備の維持、更新及び改修  
 （1）設備設置等業務委託料 9,459千円  
     【内訳】  
         矢沢小：放送設備更新 2,007千円  
         湯本小：放送設備更新 3,592千円  
         エアコン移設 3,860千円（内川目小、亀ヶ森小、大迫小、花巻小、矢沢小、新堀小、湯本小、南城小）
- 校舎等の維持管理、長寿命化 31,389千円〔うち繰越明許費 25,735千円〕  
 （1）設計等業務委託料 5,654千円  
     【内訳】  
         南城小：FF式暖房更新（工事設計業務） 3,289千円  
         宮野目小：FF式暖房更新（工事設計業務） 2,365千円  
         桜台小：長寿命化改良事業（実施設計業務） 0千円〔令和4年度繰越〕  
 （2）湯本小（校舎）非構造部材耐震化工事 25,735千円〔うち繰越明許費 25,735千円〕

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	104970	小学校学習用端末整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		38,893	258,933		220,040
財源内訳	国費	36,044	258,933		222,889
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	2,849	0		-2,849

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和3年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
教育環境の充実

事業開始の背景・経緯
文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒1人1台端末を整備する。

事業概要
児童用タブレット端末の購入（繰越明許費） 258,933千円 児童が使用する学習用タブレット端末を整備

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
小学校学習用端末整備事業費 258,933千円（R2 R3繰越）
1. 整備台数 学習用タブレット端末 3,996台
2. 事業費
17節 学習用端末購入費 258,933千円
（1）児童用タブレット端末 176,044千円
（2）ソフトウェア関連 46,845千円
学習者用基本ソフト 12,000千円
Webフィルタリングソフト 17,395千円
授業支援ソフト 17,450千円
（3）設定作業 36,044千円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	02	02	104A00	小学校教育環境充実事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		18,171	2,950		-15,221
財源内訳	国費	16,671	2,950		-13,721
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	1,500	0		-1,500
	一般財源	0	0		0

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	令和2年度 ~ 令和3年度
------	--	-------	--	------	---------------

部重点施策における目標

教育環境の充実

--	--	--	--	--	--

事業開始の背景・経緯

文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒に貸与するモバイルWi-Fiルータを整備する。

--	--	--	--	--	--

事業概要

モバイルWi-Fiルータの購入 2,950千円  
児童に貸与するモバイルWi-Fiルータを整備

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細 1

小学校教育環境充実事業費 2,950千円

1. 整備台数  
モバイルWi-Fiルータ 298台
2. 事業費  
17節 通信機器購入費 2,950千円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	01	104240	中学校施設維持事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		47,935	22,274		-25,661
財源内訳	国費	13,895	4,026		-9,869
	県費	0	0		0
	地方債	26,800	12,500		-14,300
	その他	0	4,200		4,200
	一般財源	7,240	1,548		-5,692

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
教育環境を充実する

事業開始の背景・経緯
良好な学習環境と安全・安心な学校運営を図るため、施設の維持管理・長寿命化を図る。

事業概要
設備等の維持管理、長寿命化 4,718千円 設備の維持、更新及び改修 宮野目中放送設備更新、エアコン移設 校舎等の維持管理、長寿命化 17,556千円〔うち繰越明許費 12,078千円〕 花北中FF式暖房更新（設計）、南城中照明器具更新（設計） 東和中（屋体）非構造部材耐震化工事（繰越明許費）

担当部署	51100000 教育委員会 教育企画	担当課長	小原賢史
------	---------------------	------	------

意見・要望等の状況
各学校からの施設要望

事業手法の詳細 1
-----------

中学校施設維持事業 22,274千円〔うち繰越明許費 12,078千円〕
学校施設長寿命化計画（令和2年10月策定）に基づき施設の維持管理、長寿命化を図る
1. 設備等の維持管理、長寿命化 4,718千円 設備の維持、更新及び改修 （1）設備設置等業務委託料 4,718千円 【内訳】 宮野目中：放送設備更新 3,300千円 エアコン移設 1,418千円（内川目小、亀ヶ森小 南城中、東和中）
2. 校舎等の維持管理、長寿命化 17,556千円〔うち繰越明許費 12,078千円〕 （1）設計等業務委託料 5,478千円 【内訳】 花北中：FF式暖房更新（工事設計業務） 3,509千円 南城中：照明器具更新（工事設計業務） 1,969千円  （2）東和中（屋体）非構造部材耐震化工事 12,078千円〔うち繰越明許費 12,078千円〕

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	104980	中学校学習用端末整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		21,607	153,567		131,960
財源内訳	国費	21,607	153,567		131,960
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	0		0

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和3年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標
教育環境の充実

事業開始の背景・経緯
文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒1人1台端末を整備する。

事業概要
生徒用タブレット端末の購入（繰越明許費） 153,567千円 生徒が使用する学習用タブレット端末を整備

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
中学校学習用端末整備事業費 153,567千円（R2 R3繰越）
1. 整備台数 学習用タブレット端末 2,374台
2. 事業費
17節 学習用端末購入費 153,567千円
（1）生徒用タブレット端末 104,587千円
（2）ソフトウェア関連 27,567千円
学習者用基本ソフト 7,129千円
Webフィルタリングソフト 10,071千円
授業支援ソフト 10,367千円
（3）設定作業 21,413千円

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	03	02	104A10	中学校教育環境充実事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		11,782	1,851		-9,931
財源内訳	国費	10,281	1,851		-8,430
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	1,500	0		-1,500
	一般財源	1	0		-1

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	令和2年度	~	令和3年度
------	-------	------	-------	---	-------

部重点施策における目標

教育環境の充実

事業開始の背景・経緯

文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づき、児童生徒に貸与するモバイルWi-Fiルータを整備する。

事業概要

モバイルWi-Fiルータの購入 1,851千円  
生徒に貸与するモバイルWi-Fiルータを整備

担当部署	51150000 教育委員会 学務管理	担当課長	八重畑 亘
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

--	--	--	--

事業手法の詳細1

中学校教育環境充実事業費 1,851千円

1. 整備台数  
モバイルWi-Fiルータ 187台
2. 事業費  
17節 通信機器購入費 1,851千円

